

せら くろぶち みよし
備後国世羅郡黒淵村 三好家文書 仮目録

広島県立文書館

令和6年(2024)3月

凡例

- 1 本目録には、備後国世羅郡黒淵村 三好家文書を掲載した。
- 2 目録の各項目は次のとおり。

請求記号 本文書群の群番号は(200102)と、この項目の記号を組み合わせたものが請求記号になる。

【例】 1 → 200102/1

表題 資料に原表題のあるものはそのまま採り、ないものは適宜付与し〔 〕書きで表記した。内容等で補記すべきものがあれば()で補った。

年代 資料に記された作成年月日を探った。写本の場合は()で表記した。

作成 資料の作成者を記した。写本の場合は()で表記した。

形態 資料の形態を記した。

数量 資料の点数を記した。

備考 留意すべき点があれば適宜記した。

- 3 文書の配列は請求記号順とした。
- 4 利用の参考のため、本文書群の概要を冒頭に記した。

【文書群概要】

備後国^{せら}世羅郡^{くろぶち}黒淵村 三^{みよし}好家文書（請求記号 200102）

中世の黒淵段銭文書と同村宮座絵図写。

出 所 三好家

出所地名 備後国世羅郡黒淵村／広島県世羅郡世羅町黒淵 [現在地名]

役職等 未詳

分 量 2点（1通、1枚）

収蔵までの経緯 寄贈者は平成 12 年（2000）に藤村耕市文書調査員（当時）へ2点の解読を依頼し、さらに鈴峯女子短期大学の松井輝昭教授（当時）へ解読を依頼した。松井教授がそれに応じたが不明な点が多く、県立広島女子大学の秋山伸隆教授（当時）らへも尋ねたが、十分な解読はできなかった。平成 13 年（2001）4 月に、藤村調査員が当館への寄贈を勧め、平成 13 年 5 月 24 日に寄贈された。

年 代 応仁 2 年（1468）～天文 18 年（1549、慶長 19 年の写し）

歴 史 寄贈者は養子であったため、三好家の由来はよくわからないが、江戸時代に黒淵村の庄屋を務めていたと聞いている。文書の由来もよく分からないが、昭和 32 年（1957）に死去した養祖父が世羅郡黒淵村の出身で、呉を経て岡山市へ転住し、その際に文書も一緒に持参したのではないかと推測する。

内 容 応仁 2 年（1468）の「うしとらのまへて（黒淵反銭の公田くわふんの在所仰せかけられそしよういたし候こと）」と、天文 18 年（1549）の「黒淵村御祭之時宮座之書置之絵図」（慶長 19 年 7 月写）。

検索手段 「広島県立文書館収蔵文書仮目録」

（2023.9.22 記述／西村 晃）

200102/1

うしとらのまへて(黒淵反銭の公田くわふんの在所仰 応仁 2.
せかけられそしよういたし候こと)

縦紙・1通

200102/2

〔黒淵村御祭之時宮座之書置之絵図〕

天文18 2.26(慶長19. 則永五郎右衛門
9.18写)

縦紙・1枚

天文18年2月26日に則永五郎右衛門が書き置いたものを、慶長19年9月18日に「一字も不違」写し置いたと記述
